



作:ユキガヤウォッチング

絵:東京工科大学  
ワークショップデザイン同好会



はれた 秋の日

ゆきちゃんは となりの おばさんから ドングリの苗木を もらいました。

ゆきちゃんは 南雪谷に 住んでいる 小学3年生です。

苗木をうえようと ウチの庭に 穴をほり始めました。

「ドングリは 大きくなるから 深くほらないと ダメだよ」と

おじいちゃんから いわれたので ゆきちゃんは 地面を  
どんどん どんどん ふかく ふかく ほっていきました。

「カチッ！」

「あれ!？」





箇いものに ぶつかりました。

「これ なんだろう？ 石？」

「おじいちゃん！ 荷か でてきた！ これなあに？」

「どれどれ・・・うへん 荷かな？ 石じゃなさそうだ・・・」

おじいちゃんが 表面に ついていた 玉を 払って くれました。

茶色くって かどぼって 細かい もようが ありました。

ふたりは そっと やさしく なでて いました。

「わあっ〜！」

ふたりは いっしょに 罅の中にあっというまに すいこまれて しまいました。

「あれ〜！」

「どこいくのお〜！」

ドン〜ン!



「ここは どこ？」

ウチの にわでは ありません

森に かこまれた ひろい のほらや 竈台<sup>かまど</sup>が 見えます。

見なれた たてものは どこにも 見えません。

かわりに 古ぼけたイエの ようなものが 見えました。

「どうやら 大昔<sup>おおむかし</sup>に きてしまったらしいぞ」

「大昔<sup>おおむかし</sup>？」

縄文時代<sup>じょうもんじだい</sup>に タイムトリップ してしまったようです。



「ここは どこ？」

ウチの にわでは ありません

森に かこまれた ひろい のほらや 竈台かまどが 見えます。

見なれた たてものは どこにも 見えません。

かわりに 古ぼけたイエの ようなものが 見えました。

「どうやら 大昔おむかしに きてしまったらしいぞ」

「大昔？」

縄文時代じょうもんじだいに タイムトリップ してしまったようです。



「うん この南雪谷にはね 縄文時代から たくさんの方が くらしていたと聞いたことがある  
その証拠に 町の あちこちから 貝塚や 土器が見つっているんだよ」

「縄文時代？ 貝塚？ 土器？」  
ゆきちゃんの 顔の 中は たくさん の ハテナで いっぱいです。  
そこで おじいちゃんは 教えてくれました。  
南雪谷に マンションを 建てる時に 遺跡の 発掘調査が 行われたこと  
6000年前の 土器や 竪穴式住居の 跡が 見つかったこと。  
6000年前という エジプトの ピラミッドが 造られた時よりも ずっと 前です。  
「そんな昔!? この南雪谷に 人が 住んでいた!? え〜びっくり!」



ゆきちゃんと おじいちゃんは おそろおそろ イエに近づく  
ひげもじやの男の人や 首かざりや 耳かざりを つけた 女の人や  
子どもたちが できました。  
みんな ニコニコ しています。  
ゆきちゃんは ほっとしました。

ムラの人たちが ゆきちゃんに 話しかけました。  
「私たちは ここで 鉢や 甕を 作っているんだよ」  
「今から ごはんの 準備を するところなのよ！」

「私たちは 今から 貝や 魚を 取りに行くよ」  
「ぼくたちは 木の葉や たき木を 取りに行くよ」  
「いっしょに 行こうよ！」



ゆきちゃんは 森に ついて行きました。  
みんなは 木の枝や 根元を見たり ゆっくり ゆっくり あるきながら  
木の実や 食べられる草を さがして いました。

「あつた～！ こんなに たくさん 実がなってるよ！」  
「こっちは ドングリが たくさん 落ちているよ！」  
「こっちは キノコも あるよ！」

ゆきちゃんも 子どもたちと いっしょにドングリや クリ きのこと 野ブドウ  
ヤマイモなどを 夢中になって 取りました。

かごの中は いっぱいです。  
枯れ枝も たくさん 集めました。  
おとなの 人たちは イノシシ 鹿などの 狩りに 行きました。

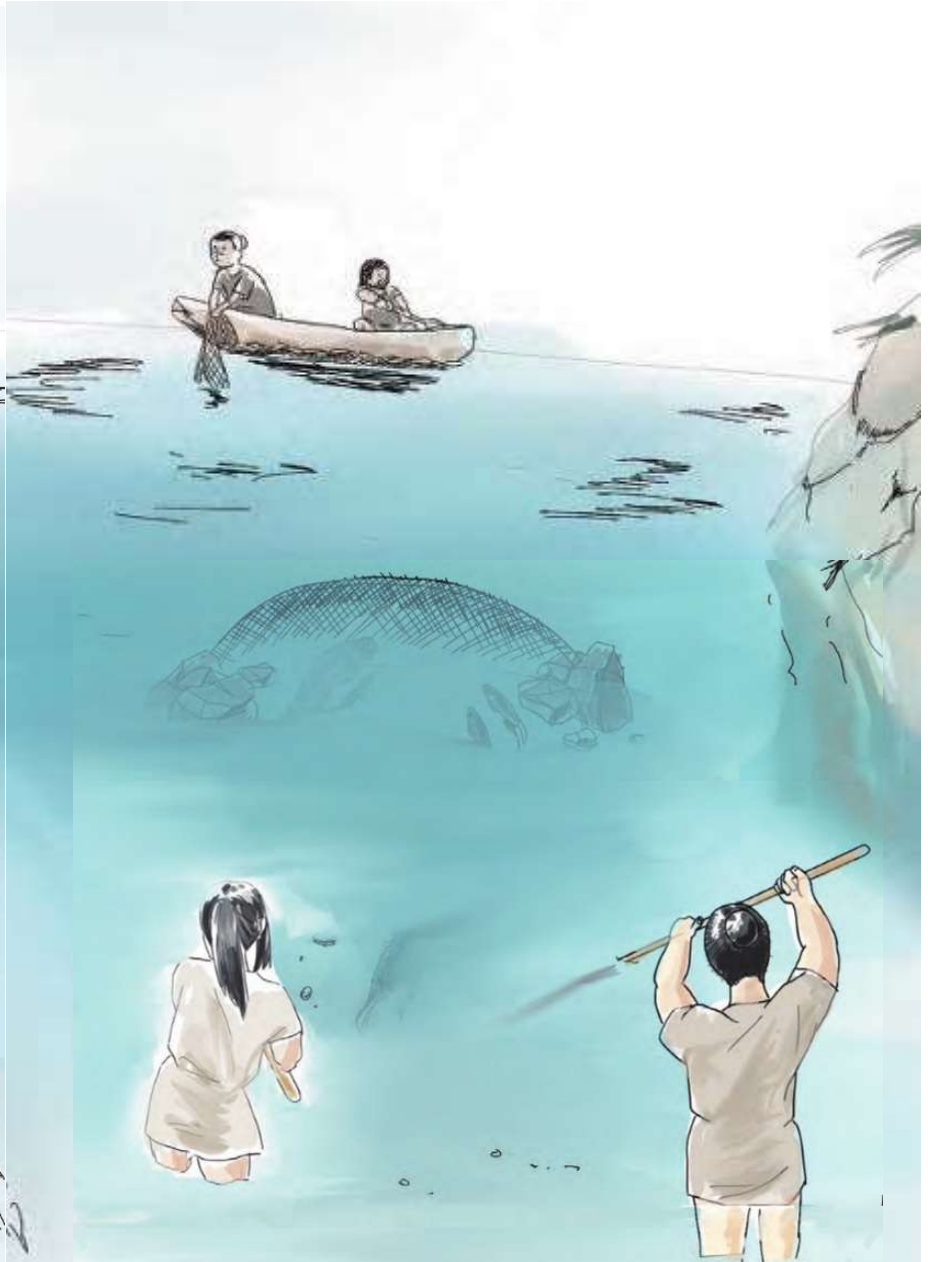
おじいちゃんは 川に ついていきました。  
「おっ？ ここは もしかして 多摩川かな？」  
子どもたちは 貝を取ったり 漁をしていました。

石でけずった 矢じりを 籾につけて 魚をついたり  
竹や 草のツルを 使って ワナをかける人  
川の水を 石で せき止める人  
木で けずった 舟に乗って 魚を釣る人

「がんばれ〜！ そっちに 魚が行ったぞ」

「よ〜し まかせろ！」

みんなで力を 合わせたので サケマス そして シジミ  
などの貝を たくさん 取ることができました。



おじいちゃんは 川に ついていきました。  
「おっ? ここは もしかして 多摩川かな?」  
子どもたちは 貝を 取ったり 漁を していました。

石で けずった 矢じりを 棒につけて 魚を ついたり  
竹や 草のツルを 使って ワナを かける人  
川の 水を 石で せき止める人  
木で けずった 舟に乗って 魚を 釣る人

「がんばれ〜! そっちに 魚が 行ったぞ」

「よ〜し まかせろ!」

みんなで 力を 合わせたので サケ マス そして シジミ  
などの 貝を たくさん 取ることができました。





さて ムラに残った 子どもたちは ムラのおとしよりに  
数えてもらいながら 土を こねて 鉢や 器を 作っています。

いろんな 模様も つけています。  
ゆきちゃんが 見つけた 庭の石と 磨ったものは この土器の  
カケラ だったようです。

食事の したくも はじまっています。  
木を すり合わせて 火をおこす人 水をくんでくる人



さあ 森に行った 子どもたちは ドングリや クリ きのこと  
野ブドウや ヤマイモなどを  
川へ 行った 人たちは 魚や 貝をいっぱい持って帰ってきました。  
たくさん はたらいたので みんな おなかすいできました。  
さあ みんなで 食事です。

ムラの人たちが ドングリの実を 粉にして 焼いたものを  
ゆきちゃんに 作ってくれました。  
まるで クッキーみたいで おいしかったです。



ゆきちゃんは ムラの 子どもたちに 教えてもらって  
ツノガイに 草のツルを 通して かわいい腕輪を 作りました。  
自分で 作った 腕輪なんて はじめてです。

ゆきちゃんは 腕輪を 空に かざしてみました。  
空には お星様がいっぱいいます。  
ゆきちゃんは こんなに たくさんの 星を  
今まで 見たことが ありませんでした。

「すご〜い！」



ドジーン！

ゆきちゃんと おじいちゃんは ムラの 人のイェで とまることになりました。  
イェの 中には ムラの人たちが 作った器が おいてありました。

「そう言えば おじいちゃんが 小さいころ 谷川の 向こうの がけに  
船土山と いうところが あったな〜！」

この器も その粘土で 作って いたかもしれないな・・・」

「ふーん ずっと 昔から つながって いるんだね・・・すごいね！」

「それにしても すばらしい！」

ゆきちゃんと おじいちゃんは そっと やさしく なりました。

「あっ！」

ふたりは もとの 庭に もどっていました。

「あれ・・・？ ここは ウチの庭？」

「ゆきちゃん ふしぎな 冒険だったね～」

「うん！ 楽しかった～！」

でも おじいちゃん どうして 大昔に 行けたんだろう？  
夢だったのかな～？」





気がつくとおじいちゃんの手には 土器の かけらが  
ゆきちゃんの 腕には ゆきちゃんが 作った  
ツノガイの かわいい 腕輪が ありました。

「夢じゃない！」  
「本当に 大昔の 南雪谷に 行けたんだね！」  
わたし もっと いろいろな 場所を ほつてみたい！  
そうしたら また 土器のかけらが 見つかって 大昔に タイムトリップ  
できるかもしれない！」  
ゆきちゃんは 腕輪を 見ながら そう考えました。

おわり

# ゆきがやかいづか 雪ヶ谷貝塚について

ゆきがやどき  
雪ヶ谷土器

ゆきがやかいづか  
1. 雪ヶ谷貝塚はどこにあるの？

ゆきがやかいづか はっけん  
2. 雪ヶ谷貝塚はいつ発見されたの？

へいせい ねん おこな はっくつ せいか  
3. 2000(平成12)年に行われた発掘の成果は？





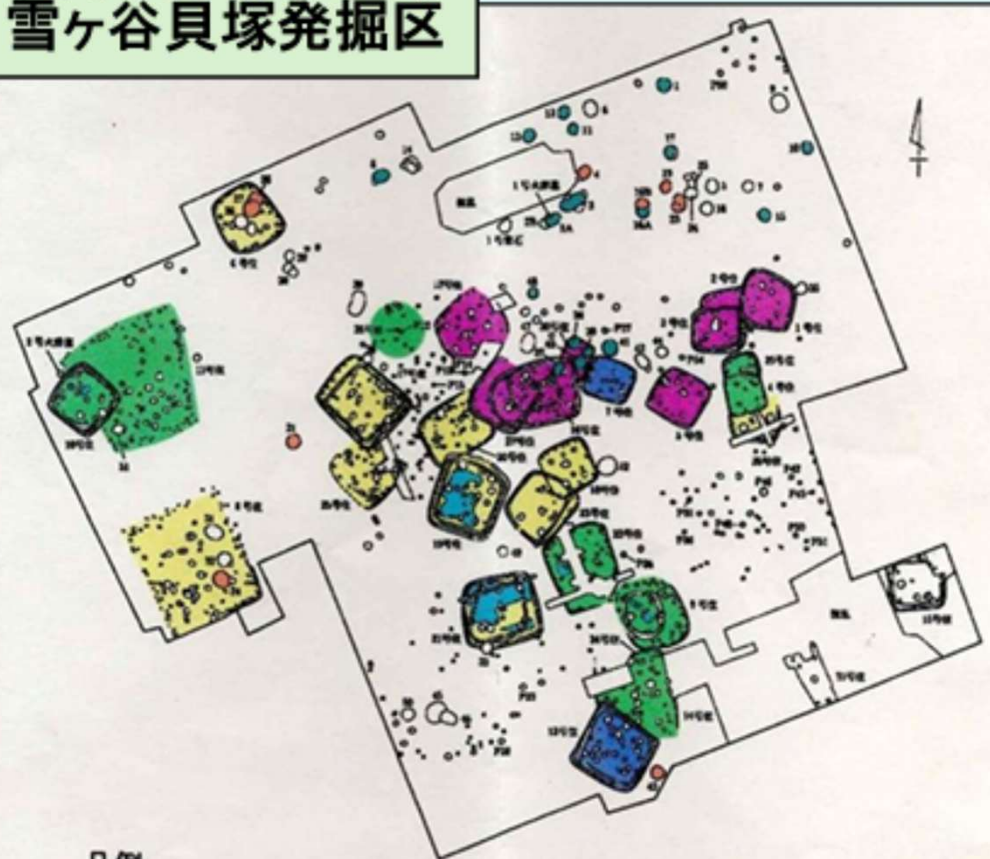
1990年頃の雪ヶ谷貝塚周辺(東京都大田区南雪谷3~5丁目、東雪谷3丁目・5丁目)

出典:国土交通省国土地理院ホームページ URL: <https://www.gsi.go.jp>

じゅうみんせつめいかい  
**住民説明会**



ゆきがやかいづかはくつく  
雪ヶ谷貝塚発掘区



凡例

- |     |   |  |   |  |
|-----|---|--|---|--|
| 住居址 | <span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:yellow; border:1px solid black;"></span> 縄文a式中房壇 | <span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:green; border:1px solid black;"></span> 縄文a式新房壇 | <span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:blue; border:1px solid black;"></span> 縄文b式古房壇 | <span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:magenta; border:1px solid black;"></span> 縄文b式新房壇 |
| 土坑  | <span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:orange; border:1px solid black;"></span> 縄文a式期   | <span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:teal; border:1px solid black;"></span> 縄文b式期    |   |  |
| 貝層  | <span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:lightblue; border:1px solid black;"></span>      |  |   |  |

図4 雪ヶ谷貝塚発掘区 遺構全体図

クイズ

1. <sup>じょうもん</sup>縄文<sup>じだい</sup>時代とはいつ<sup>ころ</sup>頃のこと？

## 1. 縄文時代とはいつ頃のこと？

縄文時代のはじまりとおわりにはいろいろな説がありますが、大ざっぱにいうと、今から1万6000年～3000年くらい前のようです。雪ヶ谷貝塚には、約6000年～8000年前の縄文前期から人が住んでいた、といわれています。

じょうもん じだい

## 2. 縄文時代には何を食べていたの？

## 2. 縄文時代には何を食べていたの？

ハマグリ、ヤマトシジミ、サケ、イワシや、ドングリ、クリ、野ぶどうなどを食べていました。雪ヶ谷あたりは武蔵野台地の東端に位置して、高台と崖があり陽あたりが良く、わき水が豊富でした。魚もたくさんとれ、人々が早くから住みつけました。煮炊きや食料保存に使われた土器や住居跡が発掘されたことでわかります。

3. ドングリは、どうやって食<sup>た</sup>べたの？

### 3. ドングリは、どうやって食べたの？

縄文時代じょうもん じだいの人々ひとびとは、あくつよの強いドングリを、あみなかの中いに入れて何日なんにちも水みずにさらして食べたたようです。これは、ドングリがあみなかの中はいに入ったまま遺跡いせきから出てきたことでわかりました。



## 4. <sup>さかな</sup>魚をとる<sup>ほうほう</sup>方法は？

#### 4. <sup>さかな</sup>魚をとる<sup>ほうほう</sup>方法は？

<sup>さかな</sup>魚をとる<sup>ほうほう</sup>方法のひとつとして、

<sup>さかな</sup>魚や<sup>しか</sup>鹿の<sup>ほね</sup>骨などで<sup>つ</sup>釣り<sup>ぼり</sup>針を<sup>つく</sup>作って<sup>つ</sup>釣っていたようです。

5. 土器<sup>どき</sup>のほかに、どんなものが<sup>で</sup>出てきたの？

5. 土器のほかに、どんなものがでてきたの？

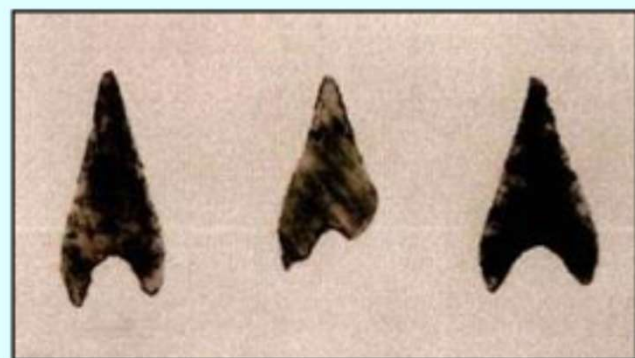
なくなった人といっしょに、副葬品の耳かざり、矢じり(石鏃)、お供え用の器など、生前大切にしていた品や道具が埋葬されていました。



けつじょう  
玦状耳飾



かいわ  
貝輪



や  
矢じり

6. <sup>かいづか</sup>貝塚とはなに？ <sup>い み も</sup>どんな意味を持っていたの？

## 6. 貝塚とはなに？ どんな意味を持っていたの？

貝がらや動物の骨など人々が食べた残りものが一か所に集めて  
捨てられたところでした。お墓のかわりにもなっていました。貝塚は、  
生きるための恵みを与えてくれた森に、海に、川に感謝したり、命  
をなくした者、使命を果たした道具へのねぎらいや哀悼のために、  
人々は祈りました。



7. なぜ「<sup>ゆきが</sup>雪ヶ<sup>や</sup>谷」という<sup>ちめい</sup>地名がついたの？

## 7. なぜ「雪ヶ谷」という地名がついたの？

多摩川でとれたアユの新鮮度をたもつため、雪をまぶしていたそうです。その雪をためておく  
室を谷あいにつくったことから、雪ヶ谷という地名になった、という説が有力です。

竪穴式住居



サルボウ



ハマグリ



## ゆきちゃんのタイムトリップ 一雪ヶ谷貝塚ものがたり

発行：2024（令和6）年10月吉日

編集・発行：ユキガヤウオッチング（大田区区民活動情報サイトオーちゃんネット登録団体）

〒145-0066 東京都大田区南雪谷3丁目16番16号 木村方

ウェブサイト：[https://www.kyoudou.city.ota.tokyo.jp/group\\_846/](https://www.kyoudou.city.ota.tokyo.jp/group_846/)

作：木村恵子、加藤順子、平野悟、大越恵子、八木晴美

絵：東京工科大学ワークショップデザイン同好会（浦田朱理・小山内瑞希・町田凌久）

